

年頭のご挨拶

一般社団法人日本地下鉄協会

会 長 高島 宗一郎

(福岡市長)



新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本年は「明治改暦から 150 年」を迎えます。地下鉄は、昨年 12 月に地下鉄開業以来 90 年の節目を迎え、この間、都市の発展とともに新線の開業や既設線の延伸を重ね、今日、北海道から九州まで、全国 12 都市で 46 路線、総延長 831 km、利用者総数は 1 日当たり 1,700 万人に達するなど、市民生活や都市活動において基幹的な公共交通機関としての役割を果たす存在になっております。

地下鉄は、地下走行による高速性と定時運行により、都市の交通渋滞の緩和に寄与しているほか、運行管理システムにより、高い安全性を確保しております。また、二酸化炭素（CO2）排出量が少なく環境にやさしい公共交通機関であるほか、駅や車内は清潔で、高齢者や外国人など誰にでも利用しやすいユニバーサルデザイン(UD)にも配慮しています。

近年の緩やかな景気回復基調や中心市街地の活性化、政府の観光立国政策による訪日外国人の増加などにより、地下鉄の輸送人員は前年に引き続き増加傾向で推移してきており、2019 年のラグビーワールドカップや 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会などの開催が控える中、インバウンドの受け入れ環境の整備も喫緊の課題となってきました。

日本地下鉄協会では、これらの動向を踏まえ、ソフト面でのマナー向上の啓発活動をはじめ地下鉄の役割、魅力を更に高め、国内外に発信を進めていくとともに、安全対策や災害対策、バリアフリーへの取り組みをより一層進め、利用者の皆様の安全・安心の確保、少子高齢化社会を見据えた地下鉄運営の効率化に引き続き取り組んでいきたいと考えております。

また、安全・安心の観点から、地下鉄施設の耐震・浸水対策や施設の維持・保守対策が大きな課題となってきました。今後、進化する鉄道技術の導入や ICT 活用による情報化への取り組みなど経験の共有や共同研究に重点を置いた活動を行ってまいります。

今年も、安全・安心、快適・便利、人にも環境にもやさしい地下鉄の魅力を発信し、一層皆様に愛される交通機関となるよう協会が一丸となってさらにチャレンジして参りますので、皆様のご支援ご指導をお願い申し上げまして新年の挨拶と致します。